

**YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト
操作マニュアル
【一次エネルギー消費量計算】
Ver.3対応版**



はじめに

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフトは、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内(以下、建築研究所HP)で公開している「エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版） Ver. 3.2」に対応した住宅の外皮性能・一次エネルギー消費量を計算し、報告書を作成するプログラムです。帳票はそのまま申請に利用できます。

使用推奨環境

OS	Windows10、Windows11
ブラウザ	Google Chrome最新版
CPU・メモリ容量 通信環境・画面の解像度	上記ブラウザおよびMicrosoft Excel2010以降で動作確認済み

※ご利用にあたっての注意事項は、<https://www.ykkap.co.jp/pro/gaihiweb/start.html> にあります。

注意

本ソフトで一次エネルギー消費量を計算する場合は、ブラウザの[既定のアプリ]をGoogle Chromeにする必要があります。下記の方法で設定することができます。

① パソコンの[スタートメニュー] (画面左下)をクリックし、[設定]⇒[アプリ]⇒[既定のアプリ]を選択します。

② [Web ブラウザー] で、現在表示されているブラウザを選択してから、 [Google Chrome]を選択します。

※ Google Chrome をパソコンにインストールしていない場合は、まず [Google Chrome]をダウンロードしてインストールしてください。

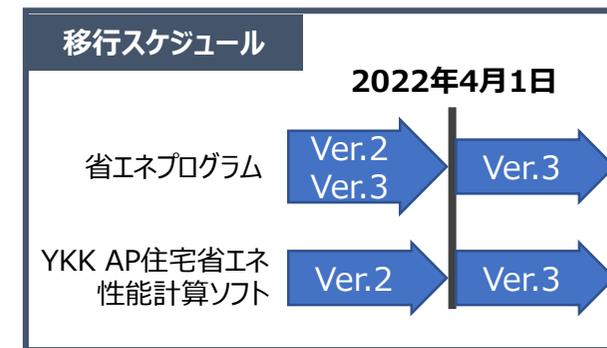
一次エネルギー消費量の計算方法

建築研究所HPで公開している「エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版） Ver. 3.2」で入力・計算
<https://house.lowenergy.jp/>

エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver.3への対応についての注意事項

エネルギー消費性能計算プログラム(以下、省エネプログラム)は、2021年4月1日～2022年3月31日においてVer.2とVer.3の両方が使用できましたが、**2022年4月1日以降は、省エネプログラムVer.3に完全移行します。**

そのため、【YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト】もVer.3対応版に更新いたします。更新にともない、【YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト】を使用する際の注意事項がありますので、ご確認くださいませようお願いいたします。



①新規物件作成方法

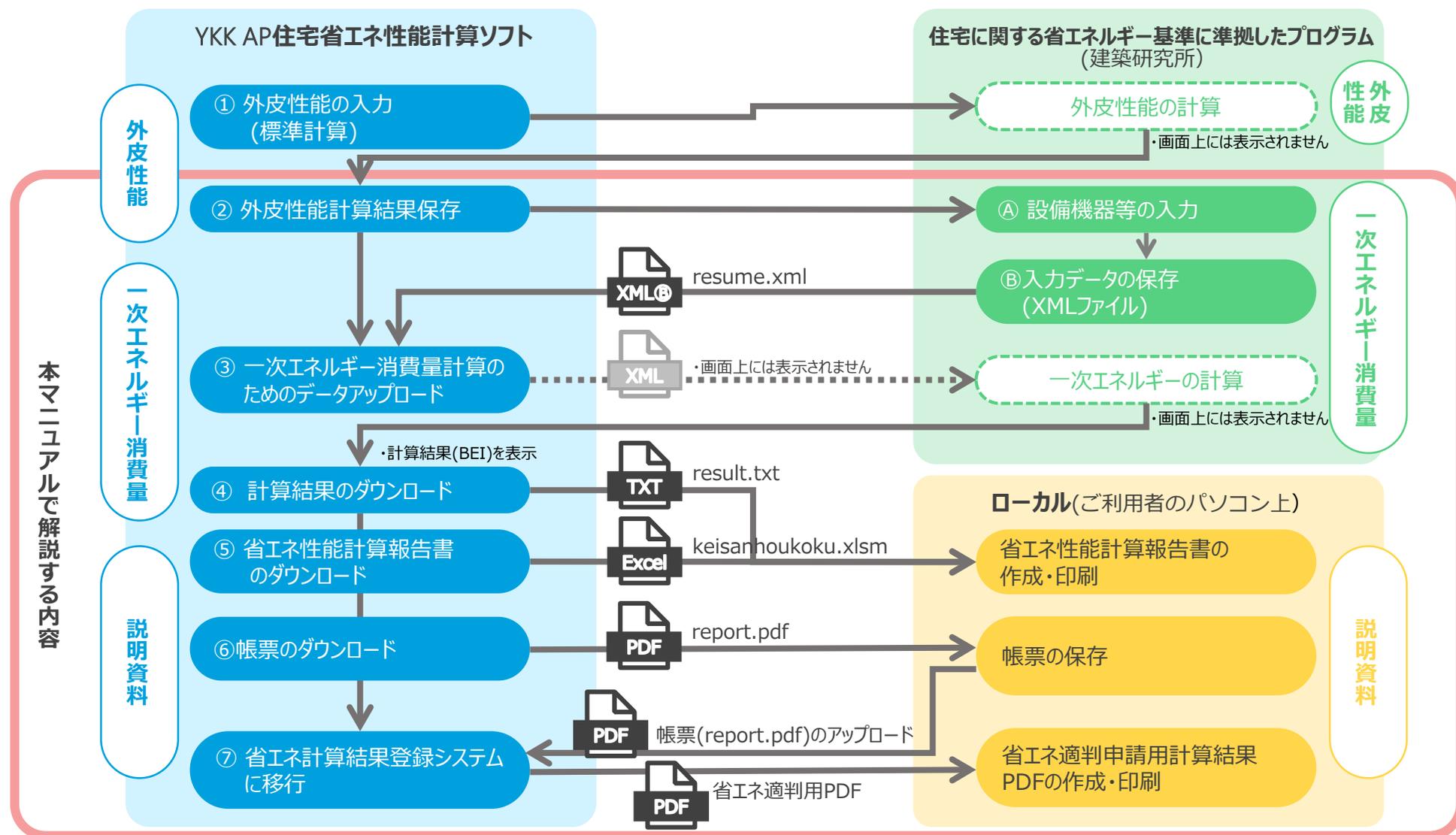
- 2022年4月1日以降に作成した物件は、自動的にVer.3対応になります。

②2022年3月31日までに作成済み・作成中の物件(Ver.2系)について

- 2022年4月1日以降は、Ver.2での外皮性能計算、一次エネルギー消費量計算を実行することが出来なくなります。
- 申請が2022年4月1日以降となる場合には、**4月1日以降に対象の物件ファイルを開き、再計算してください。**2022年3月31日以前に作成した物件も開くことが可能です。その際の注意事項は、標準計算のマニュアルでご確認ください。

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフトの流れ

本マニュアルは、外皮性能計算結果の保存、一次エネルギー消費量計算、説明資料を作成する方法に関するマニュアルです
一次エネルギー消費量の計算に必要な暖冷房・給湯・照明等の設備情報は、建築研究所HPにて入力します



- 外皮性能計算に関しては、「YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト 操作マニュアル 外皮性能計算(標準計算)」をご確認ください
- エネルギー消費性能計算プログラム(建築研究所HP)についての入力方法については、本マニュアルでは説明していません。詳しくは、国交省HP掲載の「住宅省エネルギー技術講習テキスト【基準・評価方法編】」をご確認ください。https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/shoenehou_assets/img/library/r2text_standard.pdf

「エネルギー消費性能の計算」画面への移行

■ 標準計算

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト

外皮性能の計算結果

戻る

帳票をダウンロード

住宅情報を保存

エネルギー消費性能の計算をする

①住宅情報を保存します

※エネルギー消費性能の計算に移行しますので、住宅情報を保存してからクリックしてください。

計算結果

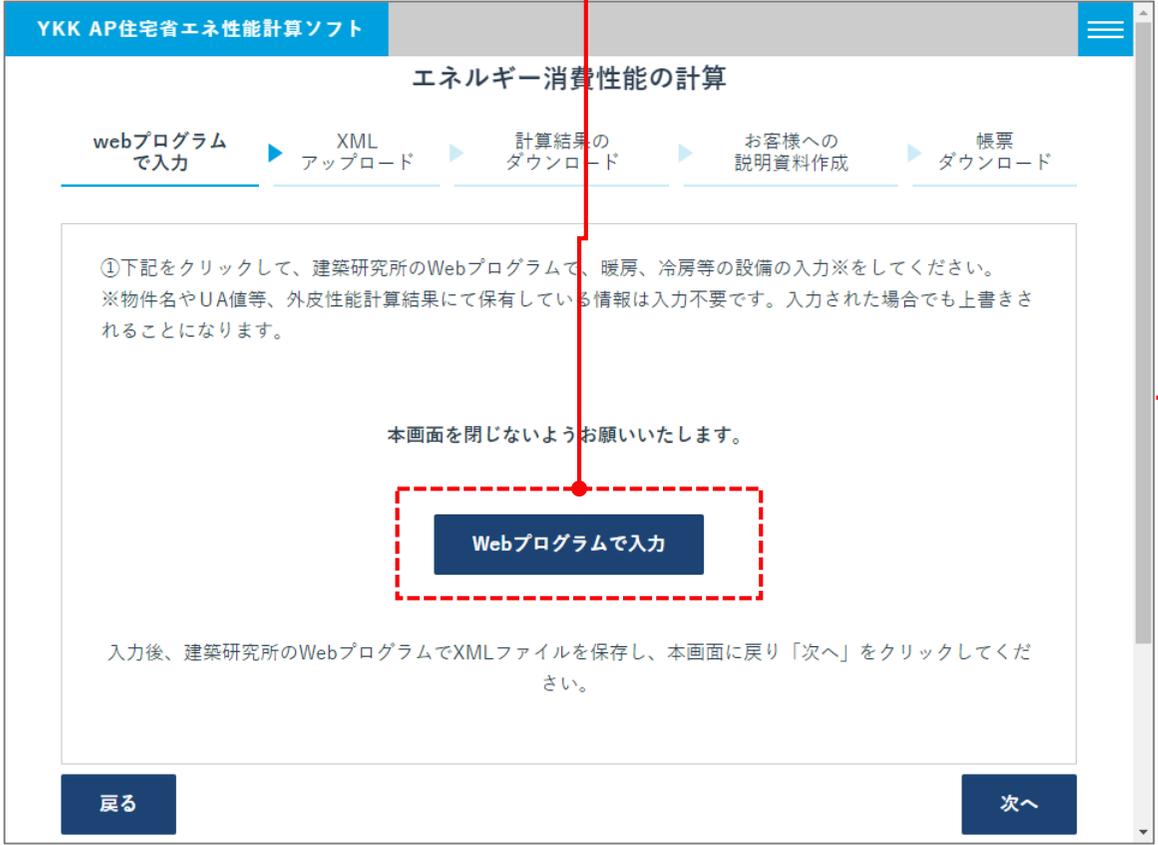
外皮等面積の合計	363.00 m ²
----------	-----------------------

- ② クリックすると、「エネルギー消費性能の計算」画面に移行します
- 「住宅情報を保存」をクリックしないと、有効になりません

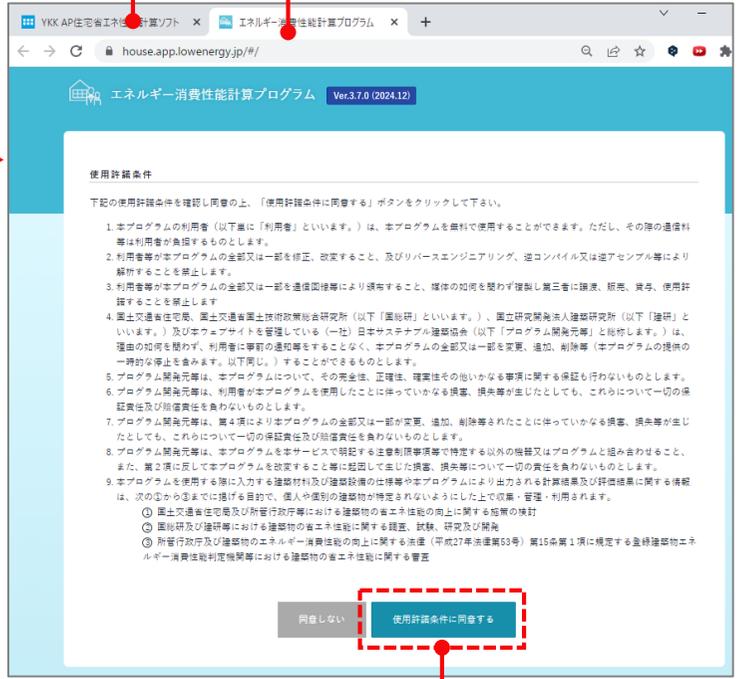
エネルギー消費性能の計算 – Webプログラムで入力 (1)

エネルギー消費性能計算プログラムの立ち上げ

- ① 「エネルギー消費性能計算プログラム」のサイトに移動します(タブが追加されます)
なお、本画面は**閉じないでください**
「エネルギー消費性能計算プログラム」の入力後に、再度入力します



注意
タブを2つ開いて作業してください
左：YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト
右：エネルギー消費性能計算プログラム



- 「エネルギー消費性能計算プログラム」のサイトとは
建築研究所HPで公開されている平成28年省エネルギー基準に基づく計算の
エネルギー消費性能計算を行うサイトです

注意
「YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト」タブを閉じてしまった場合は、**画面の移行**からやり直してください

- ② 使用許諾条件を確認し、よろしければ「使用許諾条件に同意する」をクリックして、プログラムを立ち上げます

エネルギー消費性能の計算 – Webプログラムで入力 (2)

エネルギー消費性能計算プログラムの入力 – 基本情報

エネルギー消費性能計算プログラム 住宅版 Ver.3.7.0 (2024.12)

計算条件の入力

基本情報 | 外皮 | 暖房 | 冷房 | 換気 | 熱交換 | 給湯 | 照明 | 太陽光 | 太陽熱 | コージェネ

1 基本情報を入力して下さい。

住宅タイプの名称

入力責任者

住宅の建て方 戸建住宅 共同住宅

住戸の評価方法 住戸全体を対象に評価する 増改築部分を対象に評価する

居室の構成 主たる居室とその他の居室、非居室で構成される 上記以外の構成

床面積 m² (小数点以下2桁)

主たる居室

m² (小数点以下2桁)

その他の居室

合計 m² (小数点以下2桁)

注意

「住宅のタイプの名称」「住宅の建て方」の入力の必要はありません。「YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト」にて、外皮性能計算時の情報から、自動入力されます(ここで、入力しても計算時に上書きされます)

①「入力責任者」は入力してください

②「主たる居室とその他の居室、非居室で構成される」ではない場合、「上記以外の構成」を選択してください

注意

「地域の区分」の入力の必要はありません。「YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト」にて、外皮性能計算時の情報から、自動入力されます(ここで、入力しても計算時に上書きされます)

地域の区分 1地域 2地域 3地域 4地域 5地域 6地域 7地域 8地域

令和1年11月16日に新しい地域区分が施行されました。
地域の区分は、[こちら](#) を参考に選択します。

年間の日射地域区分の指定 指定しない 指定する

太陽光発電設備または太陽熱利用設備を設置する場合は、年間の日射地域区分を選択します。

③床面積の「主たる居室」「その他の居室」「合計」は必ず入力してください

凡例

入力必須項目

入力不要項目

④「太陽光発電」又は「太陽熱利用設備」を設置する場合は、「指定する」を選択してください

エネルギー消費性能の計算 - Webプログラムで入力 (3)

エネルギー消費性能計算プログラムの入力 - 外皮

基本情報 **外皮** 暖房 冷房 換気 熱交換 給湯 照明 太陽光 太陽熱 コージェネ

外皮

1 外皮性能の評価方法を入力して下さい。

外皮性能の評価方法 ?

- 当該住戸の外皮面積を用いて外皮性能を評価する
- 仕様基準により外皮性能を評価する
- 誘導仕様基準により外皮性能を評価する (住戸全)
- 誘導仕様基準により外皮性能を評価する (増改築)

1 気候風土適応住宅を評価する場合
「仕様基準により外皮性能を評価する」を選択し

2 1で「当該住戸の外皮面積を用いて外皮性能を評価する」を選択して下さい。

外皮面積の合計 ?	307.51 m ² (小数点以下2桁)
外皮平均熱貫流率 (U _A) ?	0.37 W/m ² K (小数点以下2桁)
冷房期の平均日射熱取得率 (η _{AC}) ?	2.8 - (小数点以下1桁)
暖房期の平均日射熱取得率 (η _{AH}) ?	4.3 - (小数点以下1桁)

注意

「通風の利用」「蓄熱の利用」「床下空間を利用して外気を導入する換気方式の利用」がある場合のみ、入力してください

3 通風の利用の評価方法を入力して下さい。

通風の利用 [入力補助ツール・補足資料](#)

主たる居室 ?

- 評価しない、または利用しない
- 利用する (換気回数5回/h相当以上)
- 利用する (換気回数20回/h相当以上)

その他の居室 ?

- 評価しない、または利用しない
- 利用する (換気回数5回/h相当以上)
- 利用する (換気回数20回/h相当以上)

外皮

4 蓄熱の利用の評価方法を入力して下さい。

蓄熱の利用 ?

- 評価しない、または利用しない
- 利用する

外皮

5 床下空間を經由して外気を導入する換気方式の評価方法を入力して下さい。

床下空間を經由して外気を導入する換気方式の利用 ?

- 評価しない、または利用しない
- 通年利用する

注意

入力の必要はありません
「YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト」にて、外皮性能計算時の情報から、自動入力されます(ここで、入力しても計算時に上書きされます)

エネルギー消費性能の計算 –Webプログラムで入力 (4)

エネルギー消費性能計算プログラムの入力 –保存

①「暖房」～「コージェネ」まで入力します

② 計算し、**エラーが出ないことを確認**します

注意

「8地域」の暖房については、「**設置しない**」を選択してください

③保存します

④「保存」をクリックして、保存します
「**resume.xml**」* ファイルが、「ダウンロード」フォルダ等に保存されます

※注意

既に、**resume.xml** ファイルが、「ダウンロード」フォルダ等にあった場合には、**resume (1).xml** というように、両括弧数字が付加されていますので、ご注意ください

■ 暖房～コージェネの入力方法は、下記テキストのp221以降をご確認ください。
住宅省エネルギー基準講習テキスト(改正)平成28年省エネルギー基準対応【第2版(令和3年3月)】
https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/shoenehou_assets/img/library/r2text_standard.pdf

エネルギー消費性能の計算 –Webプログラムで入力 (5)

「YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト」に戻る

①「YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト」タブをクリックして、「YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト」に戻ります



②次の「XMLアップロード」に進みます

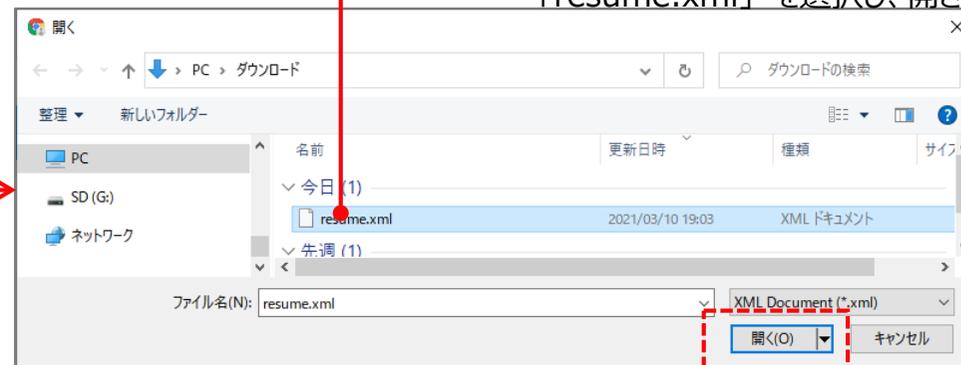
エネルギー消費性能の計算 –XMLアップロード (1)

基本操作

① クリックし、Webプログラムで入力(4)で保存した「resume.xml」ファイルを選択します



② Webプログラムで入力(4)で保存した「resume.xml」*を選択し、開きます



③ 選択した「resume.xml」が表示されていることを確認し、アップロードします



※注意

既に、**resume.xml** ファイルが、「ダウンロード」フォルダ等にあった場合には、**resume (1).xml** というように、両括弧数字が付加されていますので、ご注意ください

● アップロードが出来たら、計算結果のダウンロードに進んでください

エネルギー消費性能の計算 –XMLアップロード (2)

エラーが表示された場合の対処方法

【パターン1】

「エネルギー消費性能計算プログラム」のタブがある場合

入力に間違いがある場合、エラーが表示されます

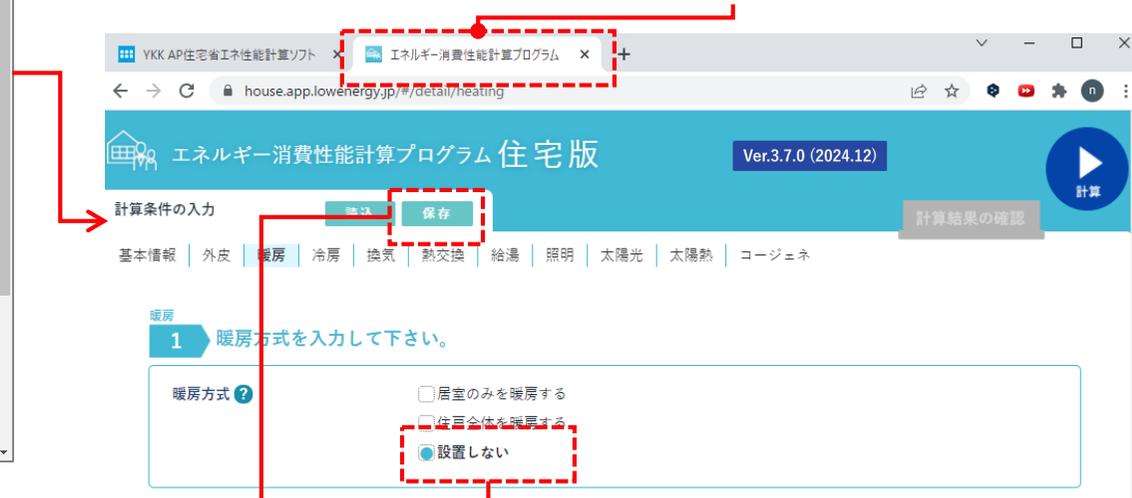


【パターン1】

「エネルギー消費性能計算プログラム」のタブがある場合

入力データが残っているため、エラー部分を修正して、保存します

① 「エネルギー消費性能計算プログラム」タブをクリックし、「エネルギー消費性能計算プログラム」に戻ります



② エラー内容を修正します

③ 修正が終了したら、保存します

● 修正前の「resume.xml」ファイルが既にある場合、「resume(1).xml」という名称で保存されます

④ 再度、**Webプログラムで入力(5)**と同様に進みます

エラーが表示された場合には、「エネルギー消費性能計算プログラム」に戻って入力し直す必要があります

下記の2パターンの対応が考えられます

パターン1：「エネルギー消費性能計算プログラム」のタブがある場合
(**WEBプログラムで入力(2)~(4)**の入力内容が残っている場合のみ)

パターン2：「エネルギー消費性能計算プログラム」のタブを閉じた場合

エネルギー消費性能の計算 –XMLアップロード (3)

エラーが表示された場合の対処方法

【パターン2：標準計算】

「エネルギー消費性能計算プログラム」のタブを閉じた場合

【パターン2：標準計算】

「エネルギー消費性能計算プログラム」のタブを閉じた場合

「エネルギー消費性能計算プログラム」を立ち上げ、保存した「resume.xml」ファイルを読み込み、修正、保存します



① 「Webプログラムで入力」画面に戻ります

② 「エネルギー消費性能計算プログラム」のサイトに移動します
なお、「エネルギー消費性能計算プログラム」の入力後に、再度入力しますので、本画面は閉じないでください

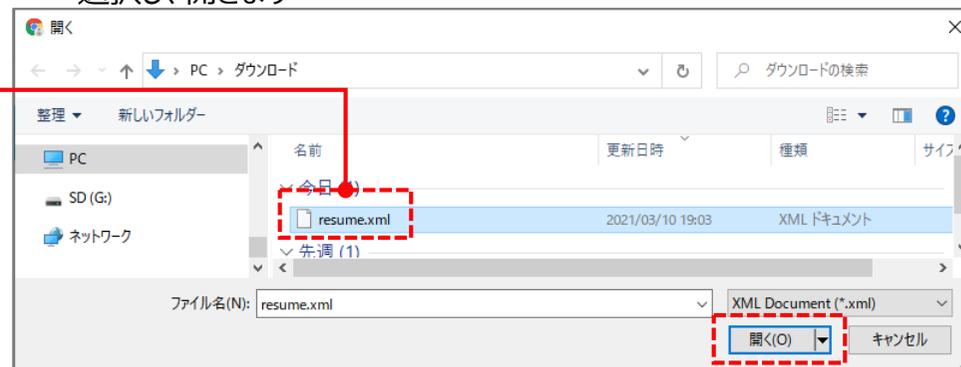


③ 「エネルギー消費性能計算プログラム」で保存した「resume.xml」ファイルを読み込みます



④ ファイルを選択します

⑤ Webプログラムで入力(4)で保存した「resume.xml」ファイルを選択し、開きます



⑤ エラー内容を修正し、修正が終了したら「保存」します

● 修正前の「resume.xml」ファイルが既にある場合、「resume(1).xml」という名称で保存されます

⑥ 再度、Webプログラムで入力(5)～XMLアップロード(1)と同様に進みます

エネルギー消費性能の計算 – 計算結果のダウンロード

① xmlファイルをアップロードすると、BEIの計算結果が表示されます



② 「計算結果のダウンロード」に進みます

③ 計算結果をダウンロードします
「result.txt」ファイルが、「ダウンロード」フォルダ等に保存されます
● 「result.txt」ファイルは、お客様への説明資料作成に使用します



④ 「お客様への説明資料作成」に進みます

※注意

既に、**result.txt** ファイルが、「ダウンロード」フォルダ等にあった場合には、**result(1).txt** というように、両括弧数字が付加されていますので、ご注意ください

エネルギー消費性能の計算 –お客様への説明資料作成

計算報告書のダウンロードについて

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト

エネルギー消費性能の計算

webプログラムで入力 ▶ XMLアップロード ▶ 計算結果のダウンロード ▶ **お客様への説明資料作成** ▶ 帳票ダウンロード

④「省エネ性能計算報告書」を下記よりダウンロードし、先に保存した計算結果ファイル（ファイル名：result.txt）を読み込んでください。自動でお客様への説明資料が作成されます。

省エネ性能 計算報告書をダウンロード

戻る 次へ

① 説明用の資料である計算報告書をダウンロードします
「keisanhoukoku.xlsx」ファイルが「ダウンロード」フォルダ等に保存されます
計算報告書の解説は[省エネ性能 計算報告書\(1\)～\(4\)](#)で行います

②「帳票ダウンロード」に進みます

エネルギー消費性能の計算 – 帳票ダウンロード

帳票ダウンロード・省エネ計算結果登録システムについて

- ① 必要に応じて帳票をダウンロードします
クリックすると「report.pdf」がダウンロードされます



下記の帳票が、「ダウンロード」フォルダ等に「report.pdf」という名称で保存されます
一次エネルギー消費量計算結果(住宅版)

一次エネルギー消費量計算結果(住宅版)

1. 住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等

(1)住宅タイプの名称(建て方)	標準テスト(戸建て住宅)		
(2)入力責任者	〇〇 〇〇		
(3)住戸の評価方法	住戸全体を対象に評価する		
(4)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室
	29.81㎡	51.34㎡	38.93㎡
(5)地域の区分/年間の日射地域区分	5地域		*****
(6)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次[MJ]
			基準一次[MJ]
	暖房設備		100861
	冷房設備		2295
	換気設備		5939
	給湯設備		30620
	照明設備		5212
	その他の設備		21241
	発電設備の発電量		
	のうち自家消費分		
太陽光発電(PV)		--	
コージェネレーション設備(CGS)		--	
コージェネレーション設備の発電量に係る控除量 *1		--	
(7)合計	PVおよびCGSを対象とする場合		166166
	CGSを対象とする場合		166166
			99794

本計算結果は、当該住戸が建設される地域区分及び設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。
(6)の各用途内訳を足した値と合計は四捨五入の関係で一致しないことがあります。
*1:コージェネレーション設備が発電した電力を発電するために要した一次エネルギー消費量相当量です。

- ② 2025年4月以降は、計算結果の帳票を登録する必要があります

- ③ すべての作業が終了したら「終了」します

省エネ性能 計算報告書 (1)

■ 省エネ性能 計算報告書 とは

・お客様へ省エネルギー性能を説明するための資料で、外皮性能、一次エネルギー消費量の計算結果をまとめた資料です

・下記の順序で操作します

1. [計算結果のダウンロード](#)で保存した「result.txt」ファイルを読み込みます
2. 「表紙」シートの報告者の情報の入力、「光熱費」シートのガスの種類を選択します
3. 必要な報告書を選択します
4. 印刷設定をして、印刷をします

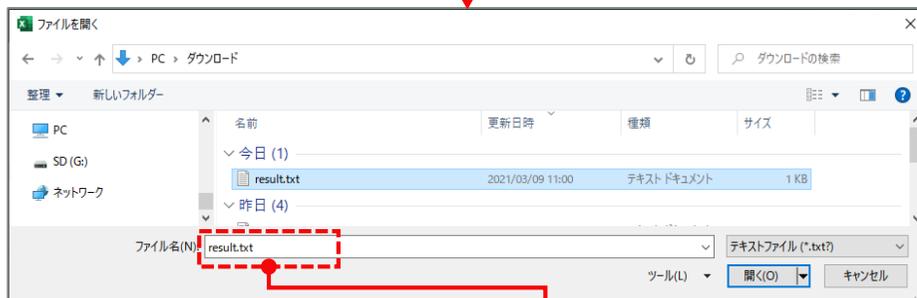
注意

本ソフトは、マクロが含まれておりますので、マクロを無効にしている場合は、起動した際に表示される「コンテンツの有効化」等を実行してください。

 セキュリティの警告 マクロが無効にされました。 [コンテンツの有効化](#)

■ マクロについての参照サイト(MicrosoftのHP)

<https://support.microsoft.com/ja-jp/topic/office-%E3%83%89%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88%E3%81%AE%E3%83%9E%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%82%92%E6%9C%89%E5%8A%B9%E3%81%BE%E3%81%9F%E3%81%AF%E7%84%A1%E5%8A%B9%E3%81%AB%E3%81%99%E3%82%8B-12b036fd-d140-4e74-b45e-16fed1a7e5c6>

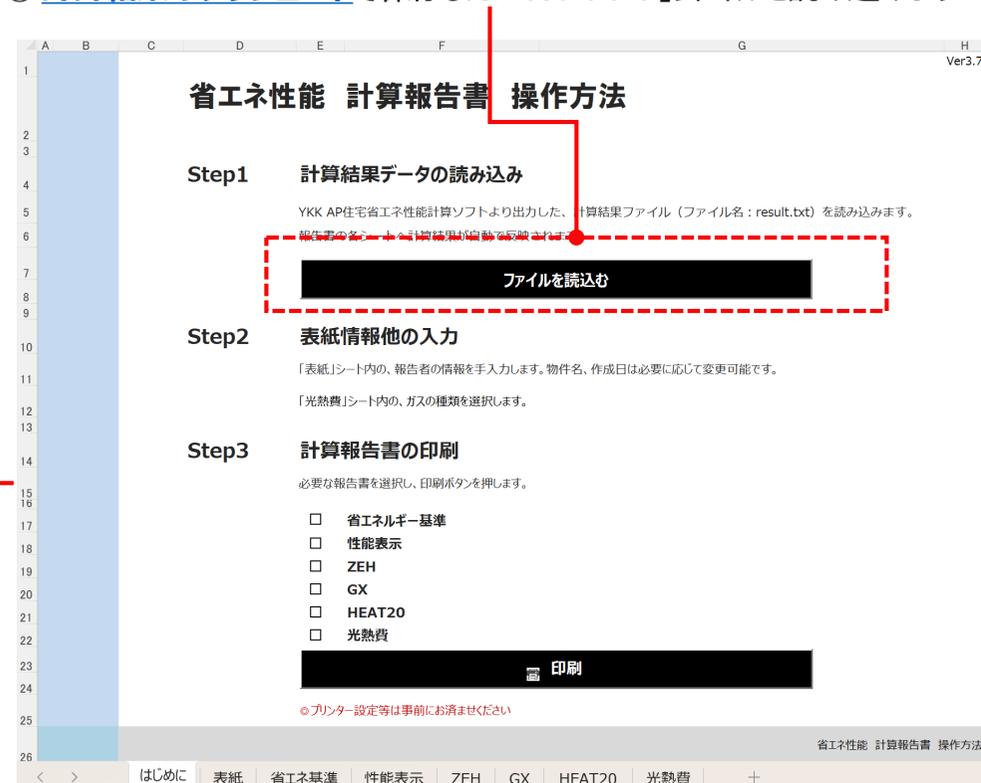


③ [計算結果のダウンロード](#)で保存した計算結果「result.txt」ファイルを開きます

① [計算報告書のダウンロード](#)で保存した「keisanhoukoku.xlsx」ファイルを開き、編集を有効にします



② [計算結果のダウンロード](#)で保存した「result.txt」ファイルを読み込みます



省エネ性能 計算報告書（２） – 「表紙」シートへの入力

「表紙」シートの作成日の変更、報告者の情報を入力します

標準テスト (戸建て住宅)

作成日: 2025年3月14日

省エネ性能 計算報告書

〇〇〇〇設計事務所
〇〇〇〇〇〇〇

はじめに 表紙 省エネ基準 性能表示 ZEH GX HEAT20 光熱費 +

物件名で入力した名称が自動的に入ります
変更も可能です

省エネ性能 計算報告書 (3) - 「光熱費」シートへの入力

「光熱費」シートのガスの種類を選択してください

- オール電化住宅の場合も選択してください

年間の光熱費 作成日：2025年3月14日

標準テスト(戸建て住宅) 地域区分：2地域

【年間光熱費】 1年間で使用するエネルギーを光熱費に換算して試算

エネルギー別 年間光熱費 の試算	
電気	¥144,396
ガス	¥129,796
灯油	¥0
合計	¥274,192

発電による光熱費削減量の試算	
自家消費分 (太陽光発電等)	¥0
売電分 (太陽光発電等)	¥0
合計	¥0

エネルギー料金単価 算出条件

電力： 円 / kWh

売電： 円 / kWh

ガスの種類 都市ガス LPガス

都市ガス： 円 / m³

灯油： 円 / L

※上記は電気・ガスの基本料金等は試算対象外としています
地域の気候特性、敷地形状や隣の建物との位置関係
お客様のライフスタイルや暮らし方によっても結果が異なります

※各料金単価…
一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構
「自立循環型住宅への省エネルギー効果の推計プログラム」の
初期値（2021年3月時点）としています。

はじめに | 表紙 | 省エネ基準 | 性能表示 | ZEH | GX | HEAT20 | **光熱費** | +

省エネ性能 計算報告書（４）－計算報告書の印刷

「はじめに」シートに戻り、必要な報告書を選択し、印刷設定を確認して、印刷します

省エネ性能 計算報告書 操作方法

Ver3.7

Step1 計算結果データの読み込み

YKK AP住宅省エネ性能計算ソフトより出力した、計算結果ファイル（ファイル名：result.txt）を読み込みます。
報告書の各シートへ計算結果が自動で反映されます。

ファイルを読み込む

Step2 表紙情報他の入力

「表紙」シート内の、報告者の情報を手入力します。物件名、作成日は必要に応じて変更可能です。
「光熱費」シート内の、ガスの種類を選択します。

Step3 計算報告書の印刷

必要な報告書を選択し、印刷ボタンを押します。

- 省エネルギー基準
- 性能表示
- ZEH
- GX
- HEAT20
- 光熱費

印刷

◎プリンター設定等は事前にお済ませください

省エネ性能 計算報告書 操作方法

はじめに 表紙 省エネ基準 性能表示 ZEH GX HEAT20 光熱費 +

プリンタの設定は、「ファイル」→「印刷」→「プリンタ」より、使用するプリンタを選択して設定します